

生命保険会社を、  
ひとつの指標だけで判断していませんか？  
明治生命は、  
トップレベルの健全性を確保しています。

AAA	AAA	A++
AA+	AA+	A+
AA	AA	A
AA-	AA-	A-
A+	A+	B++
A	A	B+
A-	A-	B
BBB+	BBB+	B-
BBB	BBB	C++
BBB-	BBB-	C+
BB+	BB+	C
BB	BB	C-
BB-	BB-	D
B+	B+	E
B	B	F
B-	B-	
CCC	CCC+	
CC	CCC	
C	CCC-	
D	CC	
	R	

**格付**  
**AA-** **A+**

日本格付研究所  
(保険金支払能力格付)

スタンダード&プアーズ (S&P) 社  
(保険財務力格付)

会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号であらわしたものが、「格付」です。当社は、優れた財務内容と健全な事業基盤が評価され、(株)日本格付研究所から「AA-」、スタンダード&プアーズ (S&P) 社から「A+」、AMベスト社から「A+」と高い格付を取得しています (平成13年5月末現在)。

※保険金支払能力格付は、保険金支払債務を契約通り支払うことができる能力を評価したものです。  
保険財務力格付は、保険契約の諸条件に従い保険金を支払う能力に関し、保険会社の財務内容について評価したものです。  
※上記の格付は、当社が依頼して取得したものです。  
※格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推薦するものではありません。  
※格付は、現時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。

**資産全体の含み益**

**1兆264億円**

(一般勘定資産全体の含み損益相当額)

時価と帳簿価額 (取得価額等) との差額を指し、保険会社の企業体力をあらわすもののひとつが、「一般勘定資産全体の含み損益相当額」です。平成12年度末の、有価証券・土地・デリバティブ取引等を含めた「一般勘定資産全体の含み損益相当額」は、1兆264億円を確保し、十分な企業体力を維持しています。

**667%**

**ソルベンシー・マージン比率**

大地震や株の大暴落など、通常の予測を超えて発生するリスクに対し対応できる「支払余力」を有しているかどうか。それを判断するための行政監督上の指標のひとつが「ソルベンシー・マージン比率」です。平成12年度末の「ソルベンシー・マージン比率」は667%と、十分な支払余力を確保しています。

**1兆9,368億円**

**実質純資産額**

時価評価した資産からご契約に関わる各種負債等を差し引いた、いわゆる時価ベースの純資産額をあらわすものが、「実質純資産額」です。平成12年度末の「実質純資産額」は1兆9,368億円で、総資産の11.1%と、十分な水準を確保しています。

**トップレベルの健全性を確保**

**リスク管理債権**

**0.78%**

(リスク管理債権額の貸付残高に対する比率)

貸付金のうち、返済状況が正常でない債権を「破綻先債権」「延滞債権」「3か月以上延滞債権」「貸付条件緩和債権」の4つに区分し、総称して「リスク管理債権」と呼んでいます。不良債権処理を積極的に進めた結果、平成12年度末の「リスク管理債権額」は426億円、貸付残高に対する比率は0.78%ときわめて低い水準で、資産内容の健全性を確保しています。

総合力